

人権保育専門講座 1

「遊びから考える人権保育



子どもを豊かに育てる うたあそび・わらべうたあそび」



リズムと表現の会 谷畑 恵子さん

今年度も「専門性が人権の基礎を築く～命と心を支える専門家を目指し～」をテーマに、人権保育専門講座が始まりました。



人権保育専門講座1は、「遊びから考える人権保育 子どもを豊かに育てるうたあそび、わらべうたあそび」と題して、リズムと表現の会の谷畑恵子さんに、うたあそびやわらべうた、ふれあい遊びなどを通して、「子どもと共に創る人権保育」について、参加者が実際に体験しながら、具体的な内容を教えていただきました。

鈴鹿、津、名張の3会場で、約100人の方に参加をいただきました。子どもたちが、なかまとふれあいながら、からだ・ことば・リズムをひとつに表現する楽しさを共有し、人のあたたかさや優しさを実感できるたくさんの活動を紹介してもらいました。

たかさや優しさを実感できるたくさんの活動を紹介してもらいました。

そのいくつかを紹介します。

♪ 「どこです？どこです？」 ♪

〇〇さん 〇〇さん どこでしょう (みんなで)
ここです ここです ここにいます (手をふりながら応える)

「〇〇さん」のところをすきなものや気持ちを表す言葉すると、自分とだれかの共通点が見つかって、安心感にもつながります。

「〇〇が好きな人 どこでしょう？」

動きが思いつかなくて、立ち止まってしまう子がいたら？

まねっこのびのび (ストレッチ運動)

みんなで歌を歌うときに、1フレーズごとに最後の音を延ばして、そのとき体のどこかを伸ばす動きをします。だれか一人の動きをみんなでまねることで一体感を創り出します。

「立ち止まる」という動きをまねすればいいんですよ！

そのほか、活動を楽しむ主体者である子どもたちをリーダーにする「かみなりおちろ」や「はちがさした」などの遊びを体験しました。また、歌にあわせて、となりの人の背中をさする「せなかほぐし」（輪になっているので、さすり合うことになります）や、ビーチボールを使った歌遊び（ボールをとなりの人にわたしていく）を体験しました。



谷畑先生のお話から

- ・五感で感じるたくさんの遊びの経験を（季節感も大切）。
- ・子どもたちの生活に根ざした遊びを（地域性、文化、伝統など）。
- ・遊びなんだから、楽しいことが基本。
- ・遊びなんだから、まちがえてるとか正しいとかはない。
- ・どんな表現も認められることから楽しさが生まれる。
- ・遊びの中で、みんなでけじめをつける気持ちよさを体験する。
- ・人のまねをすることは、人を受け入れること、共感することにつながる。
- ・いろいろな表現をする子の内面をくみとって、ことばがけを。
- ・子どもの意欲や主体性を引き出す意図的なしかけを。
- ・乗りにくい子を「巻き込む」意図的なしかけを。

【谷畑恵子先生より】

昔からの子育て、子ども自身の遊びの中に、からだ・ことば、そして心を育てる大切なものがたくさんあります。コチョコチョコ～、こそばせたりふれあったり……。ふれあい遊びには、人のあたたかさや優しさがいっぱいです。ふれあうことで、お互いが気持ちよく、リラックス効果があり、免疫力も高まると言われています。ゆったりからだほぐれ、心もほぐれていきます。

時間の合間に「おろしていく、流していくうたあそび、わらべうたあそび」ではなく、子どもたち自身の気づき・思いを大切にしたい意図的な活動として取り組んでいきましょう。

生活に根ざした遊びは、昔からの遊びの中にたくさんヒントがあります。そして、保育者自身が、子どもたちとともに遊びを楽しみ、ともに創り出していきます。

【参加していただいた方のアンケートより】

- 普段、子どもたちとしている手遊びとは違った遊びが学べて楽しかったです。次の保育にいかせる、分かりやすく、かつ、触れ合える手遊びや身体を動かせる遊びがたくさんあり、他の先生にも知ってもらいたいと感じました。
- 「人権」という堅苦しい（と私は感じてしまいます…）言葉をかみ砕いて、明日からの保育の中ですぐに活用できる形で教えていただきました。遊びの中で見られる、子どもたちの姿をありのまま受けとめる。○・×で全てが決まるのではなく、どんな姿でもOK！と伝えることで、ホッと気が休まる子もいるだろうなあって思いました。
- 遊びの中に、事例の話を入れていただくことで、目前に子どもがいるかのように、姿を思い浮かべながら「こんなことあるよな」「こんなこと言いそう」と想像することができた。
- 先生の遊びに対しての思い、子どもたちに対しての思いがよく伝わってきました。ただ、遊びを紹介していただくのではなく、その理由、つながること、ほぐすことの大切さを改めて感じました。
- 実践的で、とても分かりやすかったです。児童養護施設なので、幼児グループでも異年齢なので、遊びの提供が難しいのですが、今日教えていただいた遊びを取り入れていきたいと思いました。
- 楽しく参加することができました。すぐにでもできる内容で役立ちました。また、隣の方と触れ合うことで、緊張もほぐれました。
- 遊びをするのもなかなか、トラブルになったり、うまくいかないこともあるけど、方法を知ることができた。人の温かみを感じ、心地よいふれあい遊びをしていくということ、改めて考えさせられた、楽しく学べた学習です。ありがとうございました。
- 「人権」というと難しく考えてしまいますが、遊びを通して子どもたちが素直に自分を表現できる、子ども自身が考え、ひらめき、発信するということが自己肯定感につながって、人権を守ることになることを学びました。“こうしなければならない”という風に考えがちですが、そうではなくて“それでもいいんだ”という余裕をもちたいと思います。
- 大変楽しい研修時間でした。わらべうたで、こんなに楽しいあそびがいろいろと出来るもんなんだと感動しました。二人になるゲームでも一人で困っている人はいないか配慮して三人でもいいんだよという柔軟さが保育には大切なんだと思いました。決められたルールで無事にスムーズに終わることをつい考えてしまいがちですが、そこでいかに楽しめたか、子どもたちの成長が考えられるかが大事だと思えます。
- 遊びの実践を通して教えていただいたので、楽しみながら学ぶことができました。体を使うことも楽しかったし、他の園の先生と関わる事が出来たのもよかったです。メモをとりながらできなかったのが残念でした。明日からの保育にいかしたいと思えます。
- リズムあそびで、けじめ、達成感、共感できることがわかってよかったです。あそびを子どもたちに合わせて工夫していくとよいこと、ルール通りでないと・・・ではなく、その子の表現として受け入れる・・・それがやわらかい心、一人ひとりを認めることにつながるのだなと感じました。
- 今までいろいろな「あそびうた」や「わらべうた」の研修に参加させていただきましたが、今までの中で一番楽しかったです。すぐに保育に取り入れられる内容で勉強になりました。また、あそびの中で子どもの人権を大切にしていける視点も学ばせていただきました。“楽しくあそぶ”を大切に保育していきたいです。
- 堅い雰囲気ではなく、参加者全体で楽しんで参加できたのが良かったです。人権と聞くと難しく考えてしまいますが、このような遊びの中にもおおいに関わってくるのだと感じました。
- 参加している自分たちの心もほぐしてもらえたように思います。教師も共にあそびを楽しむ、そして一緒にあそびをつくっていく。そんな保育をしていきたいと思いました。